

標準化のフレームワーク

● ISO/TC204組織(国際)

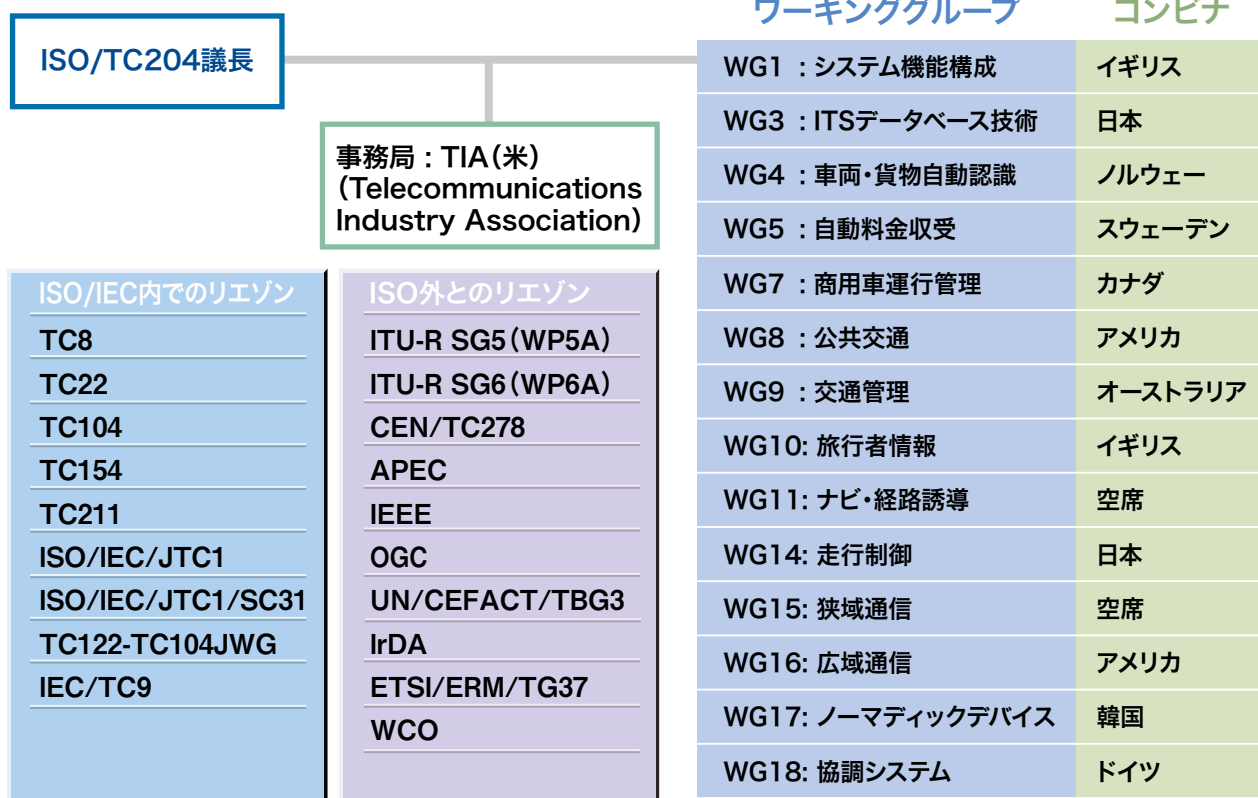
ISOにおけるITSの標準化組織TC204は、1992年に設置され1993年から活動が開始されました。ISOの組織では、通常、TC(Technical Committee:専門委員会)の下部にSC(Sub Committee:分科委員会)、さらにWG(Working Group:作業グループ)が設置されますが、TC204ではTCの下に直接WGが設置されています。これらの中には、活動開始から10数年の間に休止・統合されたWGがあり、現在14のWGが活動中です。各WGの幹事国は合計9ヶ国であり、このうち日本、アメリカ、およびイギリスが2つのWGを担当しています。

TC204の作業項目数は2011年1月末時点で123です。2002年10月にはISOとしてはじめてのITS国際規格が、日本が

コンビナを務めるWG14の作業項目の中から2つ発行されたのをはじめとして、現在までに、12のWGから62もの国際規格が発行されています。(P43成立したISO/TC204国際標準を参照。国際規格の数はいずれもPAS、TS、TRを含まず)

また、TC204と他の機関との連携(リエゾン)も活発に活動しています。例えば、2002年5月のTC204ロンドン会議でPWI提案され、2005年6月にCDとなっている「国際複合一貫輸送のためのデータ辞書・メッセージセット」の標準化については、複数のTC等との間で幅広くリエゾンをとって標準化を進めています。

ISO/TC204組織



Pメンバ(26カ国): 投票の義務があり作業に積極参加するとともに会議に参加する。

アルジェリア、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ブルガリア、カナダ、中国、チェコ、フランス、ドイツ、ハンガリー、インド、イスラエル、イタリア、日本、韓国、マレーシア、オランダ、ノルウェー、ロシア、南アフリカ、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリス、アメリカ

Oメンバ(26カ国): オブザーバとして業務をフォローし、コメントの提出と会議出席の権利がある。

ベナン、チリ、コロンビア、クロアチア、キューバ、キプロス、デンマーク、エジプト、フィンランド、ギリシャ、香港、インドネシア、イラン、アイルランド、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、ポーランド、ルーマニア、セルビア、シンガポール、スロバキア、スリランカ、タイ、トルコ、ウクライナ